# 防波堤を強靭化し、津波による人命・財産の被害を防止・最小化する

5か年加速化対策

国土強靭化 NATIONAL RESILIENCE

災害時に効果が見込まれる事例

概　　要：宿毛湾港において、防波堤の嵩上げ及び津波襲来時の防波堤の倒壊を防ぐ「粘り強い構造」への改良を行うことで、背後地域の津波浸水高を低減し、背後住民の生命・財産を防護するとともに、地域産業への被害を軽減する

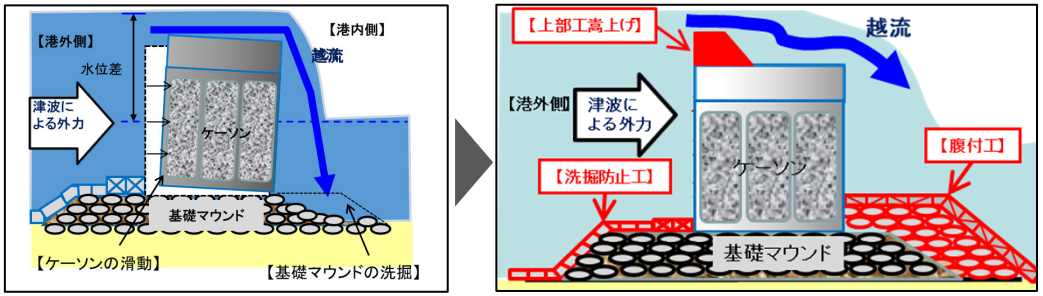
対 策 名：6　港湾における津波対策＜5か年加速化対策＞【国土交通省】

- 実施主体：国土交通省　四国地方整備局
- 実施場所：高知県宿毛市
- 事業概要：防波堤を嵩上げするとともに、津波襲来時に防波堤の港内側の基礎マウンドが洗掘されることで生じうる防波堤の倒壊を防ぐため、宿毛湾港の防波堤を粘り強い構造へと改良する。
- 事業費：約29億円

| 主な事業 | 実施内容 | 事業費 | 実施期間 |
|---|---|---|---|
| 宿毛湾港池島地区 防波堤改良事業等 | 防波堤改良 | 約29億円 | H30～R9 |
| うち３か年緊急対策 | 防波堤改良 | 約11億円 | H30～R2 |
| うち５か年加速化対策 | 防波堤改良 | 約3億円 | R2～R5 |

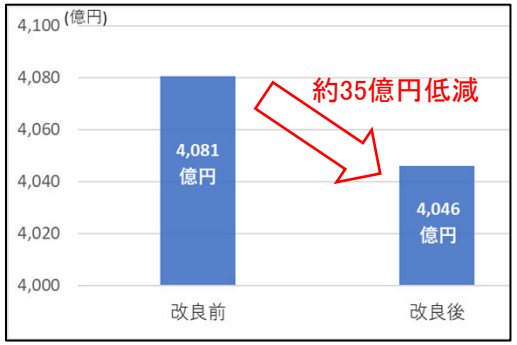
- 効果：防波堤を粘り強い構造とし、背後地域の津波浸水高を低減することで、南海トラフ地震等で想定されている津波による造船や水産加工といった地域産業への被害を軽減し、背後住民の生命・財産を防護することが可能となる。さらに、当該整備により発災後においても港内静穏度を確保する（港内の波を穏やかな状態に保つ）ことで、安全な荷役が可能となり、地域経済の早期の復旧・復興に資する。

【対策の概要】

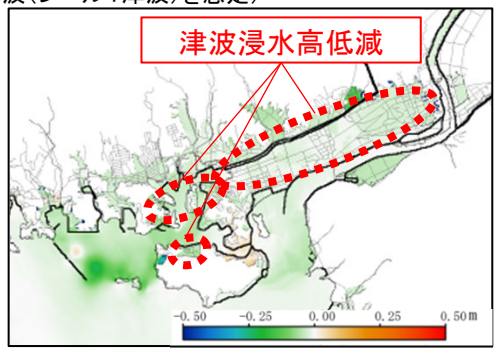



対策前　　対策後

【対策による効果】（東南海・南海地震による津波（レベル1津波）を想定）




津波浸水等による被害額




当該整備による津波浸水高の低減効果
（改良前後の最大水位差分）

静穏度確保イメージ図